

認知症看護認定看護師が 増えました！

認知症看護認定看護師 鈴木 美佳 × 釜下 佳代子
(2014年取得) (2020年取得)



新たに認知症看護認定看護師が一人増えましたので紹介します。認知症看護認定看護師は、院内外の認知機能が低下した患者さんやそのご家族、地域スタッフへ様々な支援をしています。また院内においては認知症の知識や患者さんの全人的な捉え方、ケア方法などがまだ浸透しきれていないところもあり、看護師のみならず他職種とも連携、協働し患者さんに適切なケアが提供できるように努めています。



Suzuki

おばあちゃん子だった私は、入職当時よりご高齢の患者さんと接することが好きでした。何か自分にできることはないかと考えていたところに認知症看護認定看護師を知り勉強を始め、2014年に取得できました。

認知機能が低下した方は家族や医療職者、接する人すべての影響を受けやすく、それらの対応によっては症状が悪化することがあります。そうなると介護者も疲労してしまい悪循環に陥りやすくなります。介護者に接し方や対応方法を助言しケア環境を調整することで相互にいい結果をもたらせるように努めています。

また認知症を持つ方は持たない方に比べ、数倍も転倒しやすいと言われていています。日本転倒予防学会認定の転倒予防指導士の資格も取得し、転倒予防にも努めています。

専従としてできるだけタイムリーに入院患者さんへの対応を病棟スタッフと検討し、そこに他職種も加わってもらえるようにしています。入院患者さんだけでなく、外来患者さんの相談や院外での活動も行っています。

認知症の方の思いを大切に、
寄り添ったケアを実践していきたいと思えます！

私は、2020年12月に、認知症看護認定看護師資格を取得しました。2021年4月より本格的に活動する予定です。

認知症の方の数も増加し、病院においても他疾患を合併して入院する認知症の方が増加しています。認知症の方の症状は、環境などの影響に左右されやすく、認知症の方の療養生活を支えることが看護師の重要な役割であると考えています。

認知機能低下による生活の困難さ、身体的苦痛、生活環境など、認知症の方や家族の「困りごと」を認知症の方の視点でとらえ、認知症の方の苦痛が少しでも軽減され、尊厳あるケアが行えるよう、スタッフと協力していきたいと考えています。



Kamashita